

ドレッセ中央林間

DRESSER CHUO-RINKAN

No. 20-034-2019作成

新築
集合住宅

発注者	東急株式会社、大成有楽不動産株式会社 相鉄不動産株式会社、総合地所株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO ₂ 技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB			
設計・監理	株式会社長谷工コーポレーション HASEKO Corporation		E. リニューアル F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携			
施工	株式会社長谷工コーポレーション		I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他			

林間の自然に連なるランドスケープと建築の調和

計画概要

計画地は中央林間駅から徒歩5分に位置する32,000㎡超の整形な敷地で、住棟5棟を配置した計857戸の集合住宅である。敷地周辺は広域には中央林間の地名の語源となった雑木林が点々と残るところであり、それらの自然と連なるように敷地内の緑化を行うことで生物多様性の観点から環境に寄与する計画とした。

並行配棟された住棟の間隔を広く取り、それらを弧を描く回廊で大きく緩やかにつなぎ、一つの建物としてのまとまりを与えることで自然と建築が調和した景観を創り出した。住棟と回廊に囲まれたゆったりとした空間は住民の交流が図れるプライベートな中庭とし、緑豊かな住環境をつくった。また、敷地外周の接道沿いに自主管理歩道と自主管理公園を設けて、地域に開放することで周辺環境の改善に寄与する計画とした。

植栽計画としては高木・低木含め72種約3000本の樹木を植え、在来種を中心に春夏秋冬それぞれの季節が楽しめる景観づくりを行った。



敷地全体配置図

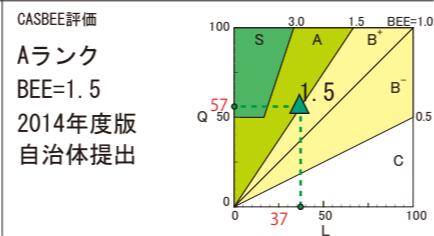


オーナーズガーデンイメージ



建物全体イメージ

所在地	神奈川県大和市
竣工年	2020年
敷地面積	32,032㎡
延床面積	72,497㎡
構造	RC造
階数	地上14階



いきもの共生事業所認証（ABINC認証）を取得

地域の自然と人をつなぐ新たな拠点を創出して生物多様性に貢献できる計画とするために、以下の方針でランドスケープ空間を構成している。

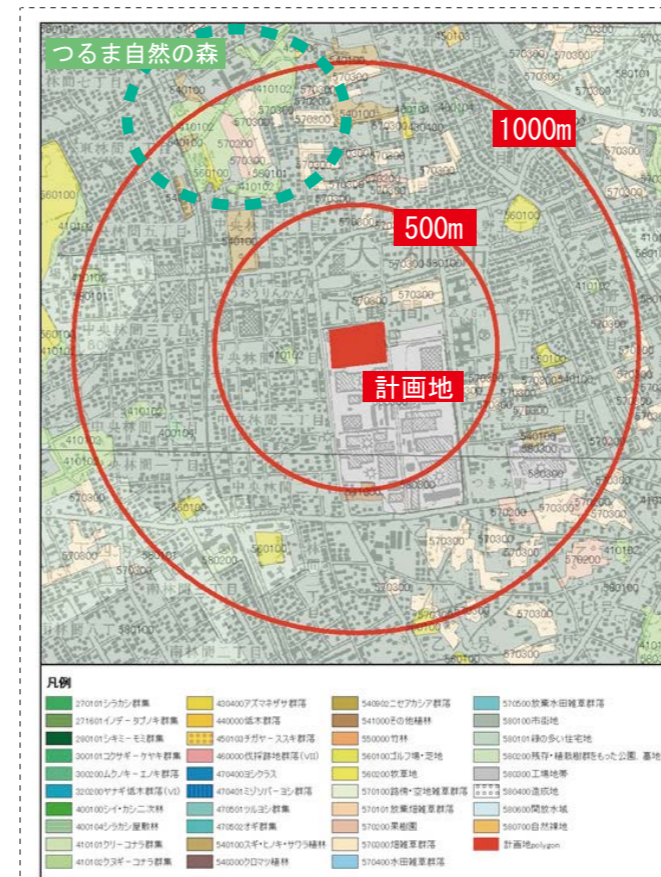
- 計画地周囲に自主管理歩道を設けて、さらに接道緑化をすることで快適で心地よい街並み景観づくりを行う
- 敷地内の緑地面積を25%以上確保し、在来種を中心とした緑化を行うことで地域生態系と調和した緑地を創出する
- 花や実のなる植栽を植えることで生物の給餌場所を提供し、巣箱や空石積を設けることで動物の生息場所や移動経路に対する配慮を行う
- 子供たちが自然に触れ合える環境を作るためウッドチップ敷きの広場を設けて、どんぐりを集めたり自然遊びができる空間をつくる
- 浸透性のある舗装や砂利敷のエリアをつくり、雨水利用による水循環への配慮を行う
- 自然体験教室や自主管理公園でのイベントを開催できる環境をつくり、住民同士や地域の人との交流が図れる計画とする



コミュニティパーク（自主管理公園）イメージ



どんぐりの森イメージ



ABINC (いきもの共生事業所®認証)

ABINC認証制度は、「『自然と共生する世界』の実現にビジネスから貢献」という設立の目的があり、企業の施設の生物多様性に配慮した緑地づくりや管理・利用などの取り組みを（一社）いきもの共生事業推進協議会が評価、認証する制度である。

周辺環境との連携

計画地周辺は緑の少ない住宅地だが、周辺約1,000m圏内には地域の緑の拠点を形成する「つるま自然の森」等のまとまりのある緑地が存在する。本計画では生物生息環境に資する植栽等の環境整備を通して、これら環境拠点と連携し、計画地周辺にいきものを呼び込むことを目指した。

設計担当者

統括：岩館公治/建築：寺澤祐二/構造：永田和成/設備：庄司周作、電気：芳賀淳/ランドスケープ：野澤雄一/共用部デザイン：毛利俊彦

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3. 1. 生物環境の保全と創出 (ABINC認定取得)
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (周辺環境への調和、街並みの形成)
- Q3. 3. 地域性・アメニティへの配慮 (地域へ開放した広場・歩道を創出)
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制 (住宅性能表示制度 温熱等級4)